

鹿児島県立霧島自然ふれあいセンター

利用の手引き

令和5年4月改訂

「出会い」「発見」そして「感動」



鹿児島県立霧島自然ふれあいセンター

〒899-6603 鹿児島県霧島市牧園町高千穂3617-1

TEL 0995-78-2815 FAX 0995-78-2858

[URL]<http://www.ki-fureaicenter.jp/>

[E-mail]ki-furecen@kbcc.ac.jp

目 次

I	施設概要	1
1	霧島自然ふれあいセンター	
2	施設フロアガイド	
3	管理・研修棟案内	
4	宿泊棟案内	
5	キャンプ場案内	
II	利用について	7
1	利用対象者・団体	
2	事前手続き	
3	入所から退所までの流れ	
4	経費及び支払い方法	
5	休所日	
III	活動プログラムの立案について	10
1	活動プログラム作成の視点	
2	事前打合せと事前踏査	
3	活動プログラム作成上の主な留意点	
4	引率指導者へのお願い	
5	活動プログラム例	
6	主な活動プログラム	
IV	生活について	16
1	本館	
(1)	基本的な生活時間	
(2)	寝具の取扱い	
(3)	生活班の編成	
(4)	その他	
2	キャンプ場	
(1)	基本的な生活時間	
(2)	携行品	
(3)	貸出用具	
(4)	用具の貸出と返却	
(5)	生活班の編成	
(6)	その他	
V	資料	22
1	必要書類の記入例	
2	霧島自然ふれあいセンター周辺地図	
3	医療機関所在地	
4	安全活動マップ	
5	安全な野外活動のために	
6	団体代表者へのお願い	
7	キャンプ場利用団体代表者へのお願い	

I 施設概要

1 霧島自然ふれあいセンター

霧島自然ふれあいセンターは、北に韓国岳・新燃岳等の霧島連峰を仰ぎ、東に志布志湾、南には国分平野・錦江湾を見下ろし、さらに桜島や薩摩・大隅半島の山並みを遠望できる雄大な高原にあります。この恵まれた自然環境の中で、心豊かで健全な青少年の育成を図るとともに、生涯学習社会の主役である県民の方々に広く学習の場として利用していただくために設けられた施設です。

また、周辺の霧島国際音楽ホール、霧島アートの森、霧島高原乗馬クラブなどの施設と連携し、霧島地域の豊かな自然や文化をいかした多様な活動や、ふれあい・交流活動ができる施設です。

さまざまな体験活動ができます

野外活動



自然に親しむ観察活動



スポーツ・レクリエーション活動

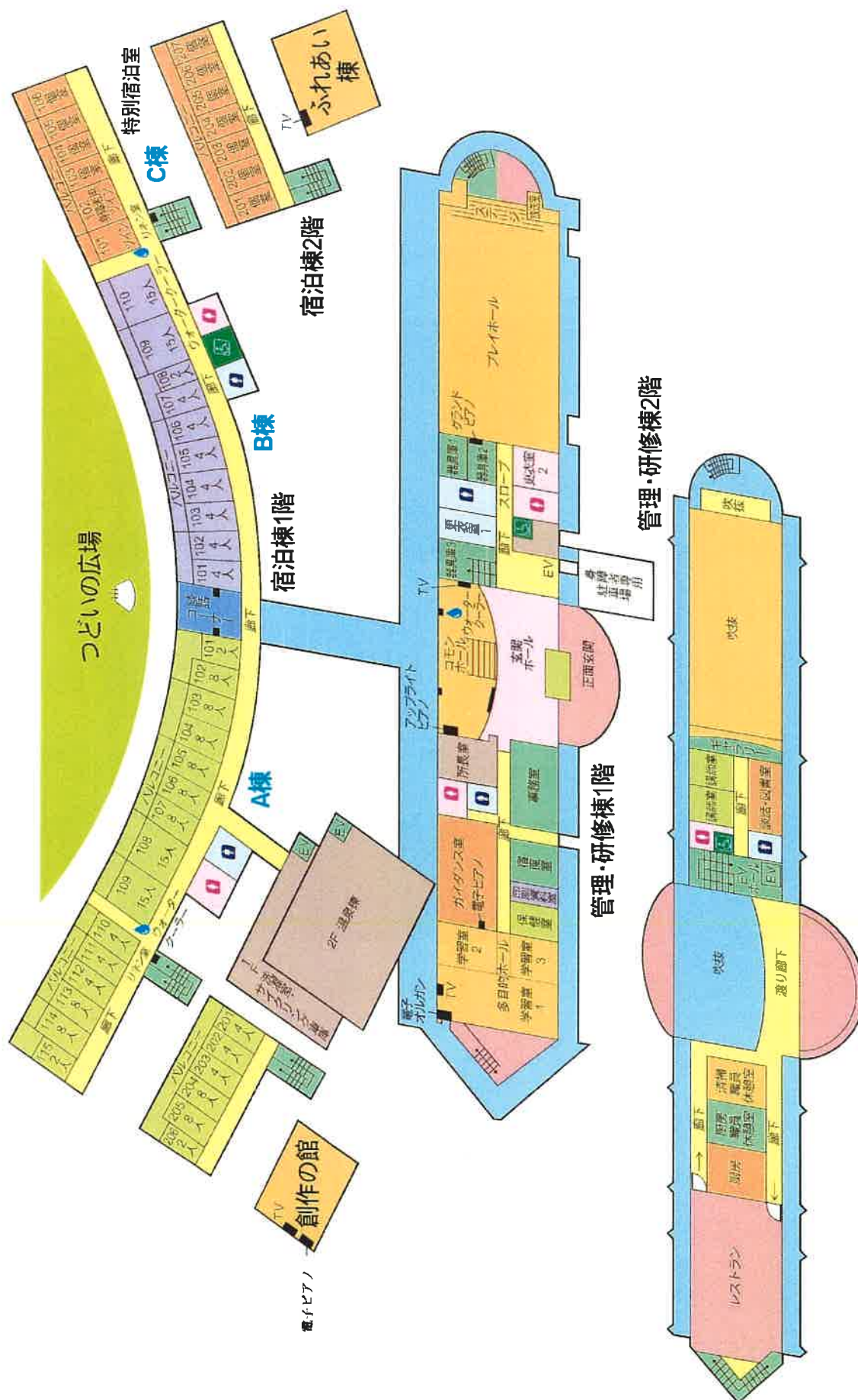


創作・文化活動



～霧島で新しい自分と出会いませんか～

2 施設フロアガイド



3 管理・研修棟案内 (新型コロナ終息までの間は定員の6～7割での利用に制限しています)



多目的ホール

- ◆最大120人収容
- ◆パネルで大、中、小3つの学習室に仕切ることができます。
大(57人)・中(27人)・小(18人)
- ◆目的に応じた多様な使い方が可能です。

【備品】

スクリーン、プロジェクター、ホワイトボード、黒板、放送機器、DVDプレーヤー、大型液晶テレビ、電子オルガン、wi-fi



ガイダンス室

- ◆50人収容
- ◆視聴覚機器を備えており、講演会場や学習室として利用できます。

【備品】

スクリーン、プロジェクター、ホワイトボード、黒板、放送機器、DVDプレーヤー、各種視聴覚教材、電子ピアノ、wi-fi



プレイホール

- ◆椅子席300可
- ◆縦27.5m, 横14.2m
- ◆各種スポーツやレクリエーション、講演会、演奏会等にも利用できます。
(バレーボールコート、バドミントンコート)

【備品】

グランドピアノ、卓球台(4台)、パイプ椅子(250脚)、放送機器、各種ニュースポーツ用具、wi-fi



コモンホール

- ◆利用者同士の交流、くつろぎの場所です。音楽ホールとしても利用できます。

【備品】

アップライトピアノ、大型液晶テレビ、図書、登山・科学雑誌、新聞、テーブルゲーム(将棋・トランプ等)、ウォータークーラー、wi-fi



創作の館

- ◆63人収容
- ◆創作活動を中心に、各種の研修室や学習室としても利用できます。

【備品】

長机(21台)、作業テーブル(7台)、電気陶芸窯(1台)、西洋陶芸窯(1台)、七宝電気炉(2台)、大型液晶テレビ、DVDプレーヤー、電子ピアノ、黒板、工作用具等



ふれあい棟

- ◆和室40畳、調理室有り
- ◆40畳の大広間は、華道、茶道、書道、着付け、日本舞踊等の伝統文化活動の他、会議、交流会等に利用できます。

【備品】

座卓(25台)、大型液晶テレビ、DVDプレーヤー、各種調理器具、2口コンロ(4台)、冷蔵庫、電子レンジ(2台)、電気ポット(10個)、座布団、花器、製氷機、お茶用道具等



つどいの広場

- ◆広々とした芝生の広場です。各種スポーツの練習や野外レクリエーションに利用できます。
- ◆クロスカントリーコース(800m)
- ◆フライングディスクゴルフコース(9ホール)
- ◆グラウンドゴルフコース(2コース16ホール)
- ◆パークゴルフコース(2コース18コース)

4 宿泊棟案内

一般宿泊室(定員200人)

(新型コロナ終息までの間は定員の6～7割での利用に制限しています)

洋室



- ◆4人部屋 13室
- ◆8人部屋 10室

和室



- ◆15人部屋 4室 各21畳

リーダー室



- ◆2人部屋 4室
- ◆内線電話, 事務机

特別宿泊室(定員15人)

シングル



- ◆11室
- ◆バス, トイレ, テレビ, エアコン

ツイン



- ◆2室 ※ 1室はバリアフリー
- ◆バス, トイレ, テレビ, エアコン

バリアフリーバス・トイレ



温泉棟

浴場



- ◆浴場は、大・中・小あります。
- ◆洗い場 大(10)・中(8)・小(2)
- ◆同時入浴可能人数の目安
大(30人)・中(20人)・小(3人)
- ◆天然温泉です。
- ◆小浴場はバリアフリーです。
- ◆シャワー室 大(3)・中(3)
- ◆ドライヤー 大(3)・中(3)・小(1)

洗濯室



- ◆洗濯機(5台)
- ◆大型高速脱水機(1台)
※ 洗剤は団体の準備してください。
- ◆ガス乾燥機 5kg(2台)

洗面所



- ◆洗面スペース(6)

5 キャンプ場案内

- (1) 利用期間 休所日以外は、年間を通して利用できます。
- (2) 宿泊定員 150人 (新型コロナ終息までの間は定員の6～7割での利用に制限しています)
- (3) 施設・設備

テントサイト (34サイト)



◆テント 4～6人宿泊可能

炊飯棟

第1炊飯棟



- ◆定員(90人程度)
- ◆テーブル兼調理台(10)
- ◆かまど(11)
- ◆水道 (18)

第2炊飯棟



- ◆定員(60人程度)
- ◆テーブル兼調理台(8)
- ◆かまど(8)
- ◆水道 (12)

第3炊飯棟



- ◆定員(30人程度)
- ◆テーブル兼調理台(6)
- ◆かまど(7)
- ◆水道 (6)

営火場 (2箇所)



◆営火場 1



◆営火場 2

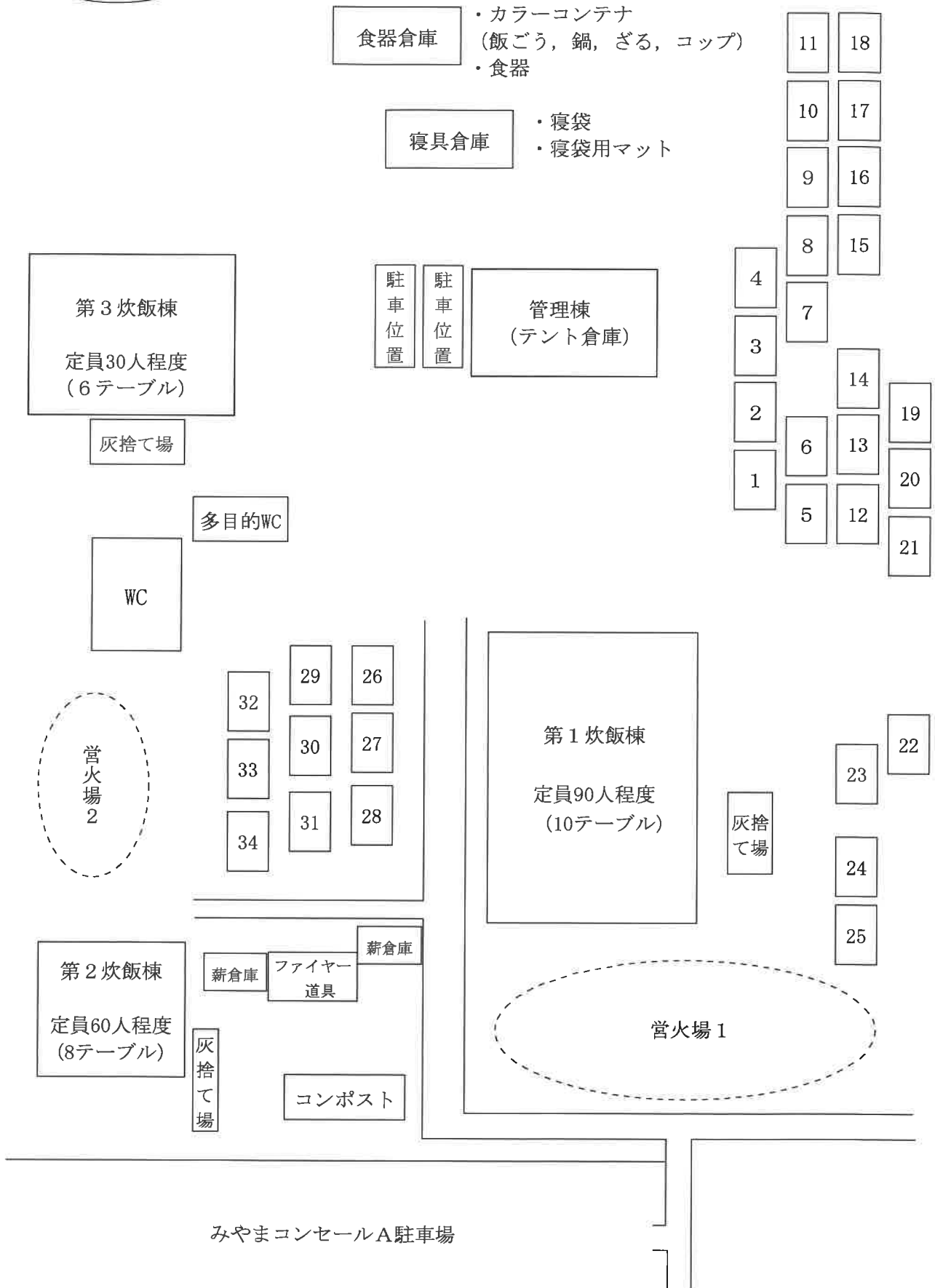
トイレ多目的トイレもあります。

貸出用具テント, 寝袋, 寝袋用マット, 炊飯用具一式, バーベキュー用具一式, 七輪

(新型コロナ終息までの間は定員の6～7割での利用に制限しています)

※ 1～34 は、テントサイト番号

キャンプ場



Ⅱ 利用について

1 利用対象者・団体

5人以上で、日帰り研修または宿泊研修の場としてご利用いただけます。

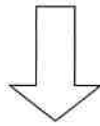
- (1) 幼児，児童・生徒，学生及びその指導者
- (2) 子ども会等の青少年団体及びその他の社会教育関係団体
- (3) 高齢者グループ，サークル等の自主的な研修団体
- (4) 企業等

2 事前手続き

お問合せ

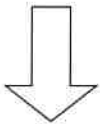
目的・利用の希望期日・予定人数・活動内容及び活動場所を予め決めて、電話でお問い合わせください。

いただいた情報をもとに、他団体の利用予約状況を確認させていただきます。



利用についての回答

予約状況を確認後、当センター担当職員から受付の可否について連絡します。



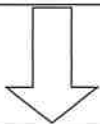
申請書類の作成・提出

受付した団体は、当センターホームページ上で申請書類の確認をしてください。
以下の書類に必要事項を記入の上、提出してください。

- 利用許可申請書
- 利用者名簿，活動日程計画書，食事申込書，食物アレルギーに関する連絡票
(エクセル版で作成してあります。)

※ 団体で計画した細かな日程等があれば、併せて提出してください。

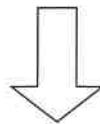
2週間前までに手続きが完了するよう、早めにメールでお送りください。



利用料金の振り込み

利用料金が発生する場合、お支払いは前日までに入金してください。

※ (人数等に変動がある場合は当日に、受付でのお支払いでもかまいません。)

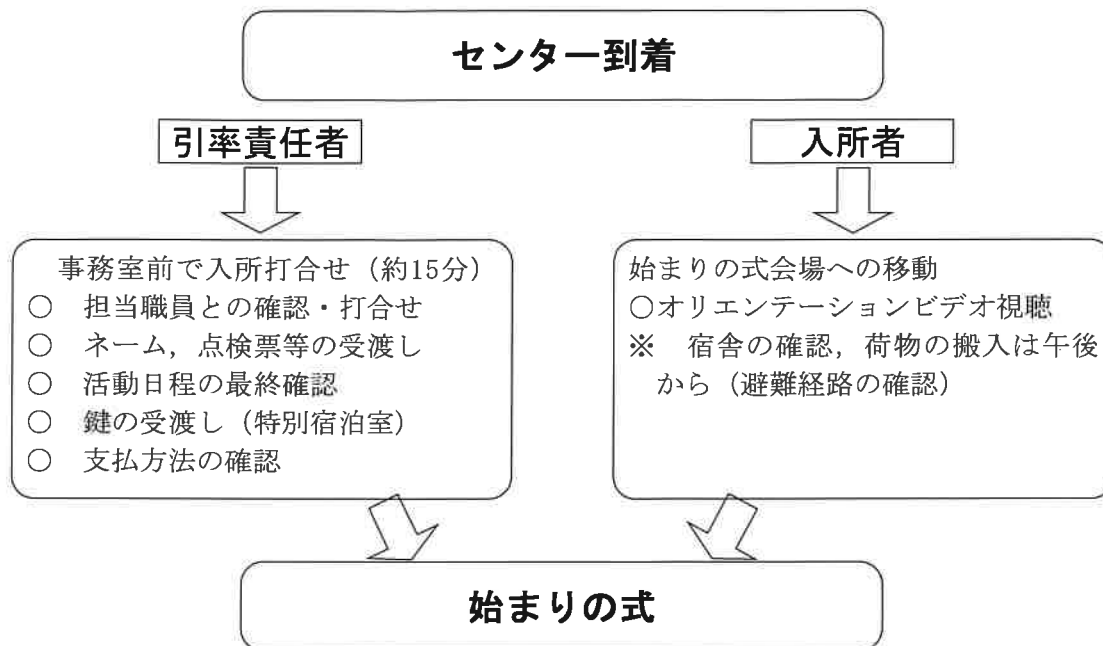


利用当日

3 入所から退所までの流れ

(1) 入所

原則として、午前9時から午後4時までの間に入所してください。



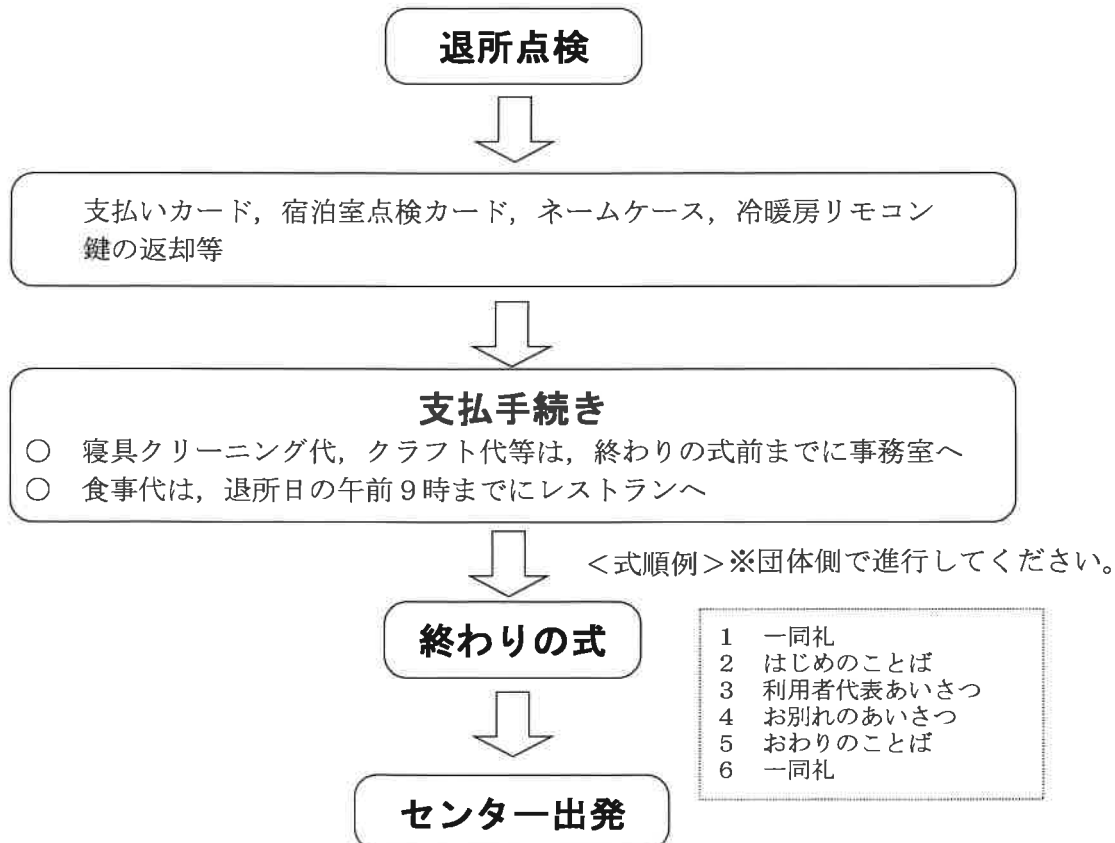
<式順例> ※団体側で進行してください。

- | | | |
|-----------|-----------|-------------|
| 1 一同礼 | 2 はじめのことば | 3 利用者代表あいさつ |
| 4 歓迎のあいさつ | 5 おわりのことば | 6 一同礼 |

・オリエンテーション

(2) 退所

原則として、午前9時から午後5時までの間に退所してください。



4 経費及び支払い方法

(1) 施設等の使用料

18歳以上の者が研修に参加する場合、1研修につき1人200円です。営利を目的とする法人、若しくは個人又はこれらを構成員とする団体が主催する研修に参加する場合も、1研修につき200円です。

ア 研修で使用する団体

区 分		使 用 料	備 考	支払方法
研修施設使用料		1 人 2 0 0 円		事前振込
宿泊施設 使 用 料	一般宿泊室	1 泊 1, 0 9 0 円		
	キャンプ場	1 泊 3 4 0 円		
	特別宿泊室	1 泊 3, 4 0 0 円		

イ 研修以外で使用する団体

場 所	使 用 料	区 分	支払方法
プレイホール	3, 7 2 0 円		事前振込
多目的ホール	3 9 0 円		
ふれあい棟	3 9 0 円		
創作の館	3 9 0 円		

○ 使用料は1時間あたりの料金。準備及び後始末に要する時間も使用時間に含まれます。

(2) 寝具クリーニング代（シーツ・枕カバー）

本館泊のみ	キャンプ場泊のみ	本館及びキャンプ場泊	支払方法
1 5 0 円	1 5 0 円	3 0 0 円	事務室へ 直接支払

○ 寝具類を汚した場合は、ご相談下さい。

(3) 食事代

本 館	朝 食	昼 食	夕 食 (幼児)	弁 当	支払方法
	3 8 0 円	5 4 0 円	6 4 0 円 (5 2 0 円)		
キャンプ場	朝 食	昼 食・夕 食		5 0 0 円	レストラン へ直接支払
	和 食・洋 食	A カレーライス,B 焼きそば,C 豚汁			
	3 8 0 円	5 4 0 円			

○ 本館での朝食と夕食は、バイキング方式です。

○ 特別食（バーベキュー、オードブル、鍋料理）については、レストランに直接相談してください。

○ 炊飯活動は、1班毎に薪代1缶300円が必要です。バーベキューの炭は、持参してください。

(4) その他

活動に関する経費については、センターに問い合わせてください。

5 休所日

休所日は、原則として次のとおりです。

(1) 月曜日（その日が国民の休日にあたる日は、その翌日となります。）

ただし、4月29日から5月5日まで及び7月20日から8月31日までの期間を除きます。

(2) 年末年始（12月28日～1月3日）

(3) その他、所長が臨時に定めた日

Ⅲ 活動プログラムの立案について

1 活動プログラム作成の視点

(1) 基本的なプログラムの構成

プログラムは、日帰りであっても宿泊であっても、単なる活動の羅列ではなく、流れを考えて作ることが大切です。一つ一つのプログラムを組み合わせ、目的に沿った一連の流れをデザインしましょう。

導入	緊張をほぐし、興味関心を引き起こし、意欲を高める活動を行います。また、始まりの式や利用に当たってのオリエンテーションを行います。
展開	ねらいを達成するために、伝えたいことや感じてほしいことをテーマとした活動を行います。①ねらい②特徴③時間④天候⑤場所等を考慮して、活動がスムーズに流れるよう組み合わせます。
まとめ	体験や気付いたことを振り返ってまとめます。みんなで分かち合い、内面化を図り、日常への橋渡しをするための時間です。

(2) ねらいを明確にしたプログラム作り

この研修を通して実現したい「ねらい」は何か、そのためのテーマは何かを明確にすることで、個別のプログラムの方向性を絞り込みます。目的を明確にしましょう。

※ ねらいの例

- 自然の中で楽しく、思いきり遊ばせたい。
- 自然の中で活動し、自然を慈しむ心を育てたい。
- 忍耐力や挑戦する心を養いたい。
- 本物にふれ、感動を味わわせたい。
- 創る楽しさや充実感を味わわせたい。
- 体験を通して、自然の事物・現象についての理解を深めさせたい。
- 親睦を図り、今後の人間関係づくりの基礎を学ばせたい。
- 人との関わり方やグループの在り方について学ばせたい。
- 体験活動を通して、環境保全や環境に配慮した実践への動機付けとしたい。
- 総合的な学習の課題発見や課題探求活動としたい。

(3) ねらいに見合った活動の配置

ねらいを明確にしたら、6W2H（いつ《When》、どこで《Where》、だれが《Who》、誰を対象に《Whom》、どんなねらいで《Why》、どんな方法を用いて《How》、何をするのか《What》、必要経費はいくらか《How Much》）を考え、効果的な活動プログラムを選択し、全体のプログラム（活動日程）を組み立てましょう。

2 事前打合せと事前踏査

(1) 事前打合せ

当センター職員からの情報をもとに、活動のねらいが達成されるように施設での生活の仕方をはじめ、活動上のポイントや周辺施設の自然環境及び実施可能な活動内容について、対象・実施期間・指導者などを具体的に把握して、プログラムを作成してください。

(2) 事前踏査

活動プログラムを安全かつ効果的に展開するために、登山等の实地踏査は是非実施してください。实地踏査に際しては、当センターの無線機や自転車等を借りることもできます。

3 活動プログラム作成上の主な留意点

(1) 集団生活におけるグループ編成

ねらいを達成できるように、生活班や活動班の人数構成を工夫しましょう。当センターでの活動は6～8人程度のグループ構成が適しています。

(2) プログラム作成へのメンバーの参加

メンバーに、プログラムの立案及び活動プログラムの選択まで参画させ、参加意欲を高めるよう配慮することが大切です。また、全体的・画一的な指導を避け、グループのリーダーを中心とした自主的な活動が展開できるように努めてください。

(3) ゆとりのあるプログラム作り

プログラムにゆとりをもたせ、のびのびと活動させましょう。そうすることによって、一つの活動プログラムがさらに充実するとともに、活動を安全に展開することができます。活動プログラムを詰め込みすぎると、時間に追われ、活動全体に余裕がなくなり、思わぬ事故に結びつくこともあります。「ゆとり＝安全で充実した活動」であることを忘れることなく、プログラムの立案に当たってください。

(4) 万全の安全対策

どのような素晴らしいプログラムであっても、たった一つの事故によって、全てが台無しになることもあります。安全対策を万全にして臨みましょう。

ア 想定できるだけの危険を予知し、そのための対策を徹底的に講じてください。

イ 万が一を想定した対策を講じるとともに、引率者全員でその対策を徹底してください。

ウ 参加者には、自分の身は自分で守ることを徹底させてください。ただし、参加者が未成年の場合は、保護者に活動の主旨、内容といったものをきちんと伝えておく必要があります。

(5) 荒天時のプログラム

活動日が雨天になるケースを想定し、準備をしましょう。

ア 小雨等

そのまま行える活動も多くあります。雨も自然現象の一つです。濡れる時間を短くするなど体を冷やさない配慮やしっかりした装備が必要です。

イ 大雨等

ねらいに沿う代替プログラムに切り替えます。

4 引率指導者へのお願い

(1) 活動の展開は、原則として引率者及び同行の指導者の方に行っていただいております。活動のねらいや目標が達成されるためには、引率者全員が活動計画を十分把握した上で、的確な役割分担を決めて活動に当たることが大切です。評価・まとめについてもお願いします。

(2) ふれあいセンターは支援型の施設です。当センター職員は、事前打合せで、活動のねらいや評価・まとめについて目標が達成されるよう助言や支援をいたします。

5 活動プログラム（例）

◆サークル合宿の場合（例：2泊3日）

【ねらい】親睦を図り、今後の人間関係づくりの一助とする。

（1日目）

午後：入所、始まりの式、オリエンテーション
グループづくりゲーム

夜：ミーティング、1日のふりかえり

（2日目）

午前：サークルの活動

午後：サークルの活動

夜：ミーティング

（3日目）

午前：創作活動（思い出の品作り）
終わりの式、退所

◆部活動合宿の場合（例：3泊4日）

【ねらい】忍耐力や挑戦心を養う。

（1日目）

午後：入所、始まりの式、オリエンテーション
部活動練習

夜：ミーティング、1日のふりかえり

（2日・3日目）

午前：部活動練習

午後：部活動練習

夜：自主学習、ミーティング
1日のふりかえり

（4日目）

午前：合宿のふりかえり、終わりの式、退所

◆集団宿泊学習の場合（例：2泊3日）

【ねらい】自然の中で活動し、自然を慈しむ心を育てる。

（1日目）

午前：登山（途中弁当食）

午後：入所、始まりの式、オリエンテーション

夜：自由交歓、1日のふりかえり

（2日目）

午前：オリエンタリング

午後：テント設営、野外炊飯、

夜：キャンプファイヤー

（3日目）

午前：テント撤収、創作活動
終わりの式、退所

◆学習合宿の場合（例：1泊2日）

【ねらい】中学生・高校生としての有意義な生活を送るための基礎を作る。

（1日目）

午前：入所、始まりの式、オリエンテーション

午後：学習活動

夜：学習活動、ホームルーム

（2日目）

午前：学習活動

午後：講話、終わりの式
退所

◆企業研修の場合（例：1泊2日）

【ねらい】社会人として礼儀作法を身に付け、自発的に学ぶ姿勢の基礎を作る。

（1日目）

午前：入所、始まりの式、オリエンテーション

午後：自主研修（講座）

夜：自主研修（講話）

（2日目）

午前：自主研修（講座）

午後：終わりの式
退所

◆子ども会の場合（例：1泊2日）

【ねらい】自然の中で楽しく思いっきり遊ぶ。

（1日目）

午後：入所、始まりの式、オリエンテーション
スポーツレクリエーション

夜：星空観察、1日のふりかえり

（2日目）

午前：ハイキング（途中弁当食）

午後：終わりの式
退所

6 主な活動プログラム

	活動名	概 要	対象・人数	所要時間	備 考
自然に親しむ活動	植物観察	所内及び周辺の植物（野草や樹木の観察）の観察	小学生以上 100人程度	1～3時間	
	野鳥観察	所内及び周辺で小鳥を中心とした野鳥の観察（ホオジロ、ツグミ、ヒバリ、ムクドリ、シジュウカラ等）	小学生以上 100人程度	1～2時間	
	昆虫観察	所内及び周辺の草原や雑木林の中で虫眼鏡を使つての観察	小学生以上 100人程度	2～3時間	
	星の観察	四季折々の星座や惑星、星団等の観察（曇天時等はDVDの視聴） ※ 天体望遠鏡等の使用も可能	小学生以上 100人程度	2時間	
	ナイトウォーク	昼間とは異なる夜の自然界についての観察	小学生以上 100人程度	1時間30分	
	グリーンアドベンチャー	所内及び周辺の樹木の名前を知り、特徴を観察	小学生以上 100人程度	1時間30分	
	オリエンテーリング	地図とコンパスを使ってポストを探し、獲得した点数を競う活動	小学生以上 100人程度	2時間	
野外活動	霧島連山登山	主なコース（起点は各登山口） ☆中岳中腹探勝路 往復約5km ☆大浪池（展望所折返し）往復約3km ☆池巡り 1周約5km ☆白鳥山（しらとりやま）往復約4km ☆韓国岳 往復約5km ☆大浪池～韓国岳～えびの高原 約6.5km ☆大浪池一周 往復約7km ☆栗野岳 周回約10km ☆高千穂峰 往復約5km	小学生高学年以上 小学生高学年以上 幼児以上 小学生高学年以上 小学生高学年以上 小学生高学年以上 小学生高学年以上 小学生高学年以上 小学生高学年以上 小学生高学年以上	2時間 1時間30分 3時間 1時間30分 4時間 4時間 3時間 4時間 4時間 4時間	
	ハイキング	☆柳ヶ平散策 往復約5km ☆柳ヶ平～関平温泉周遊 往復約8km ☆霧島滝巡りウォーク 往復約7km ☆龍馬チャレンジハイク 往復約15km ☆丸尾自然探勝路散策 往復約6km	幼児以上 小学生以上 小学生以上 小学生以上 小学生以上	2時間30分 4時間 3時間30分 6時間 3時間30分	
	ウォークラリー	コースの指示図に沿って、自然を観察しながらのグループ活動	小学生以上 100人程度	2時間	
	みきやくんワードラリー	センターの本館内を探索して、施設の中に隠された10個の文字を探す活動	小学生以上 180人程度	1時間	
	マウンテンバイク・トライアル	センターのつどいの広場に設置されたトライアルコースをマウンテンバイクで走行	小学5年生以上 20台利用可能		
	霧ふれ発見ビンゴゲーム	センター敷地内及び周辺のスポットフォトを手がかりにして、該当する場所を探すゲーム活動	幼児～小学高学年 100人程度	2時間	
	もりのたんけんビンゴゲーム	センター敷地内を探検してビンゴカードに書かれている自然物を探す活動	幼児～小学中学年 100人程度	45分	
	レイニーレクリエーション	雨の中で草スキーなどのレクリエーションをしたり、雨のよさを五感で味わうためのゲームをする活動	小学生以上 120人程度	2時間30分	
	きもだめし	暗闇の中で友達と協力しながら課題をクリアし、ゴールを目指す活動	小学生～中学生 50人程度	1時間	

○ 野外活動・霧島連山登山の所要時間には、センターまでの往復は含んでいません。

	活動名	概 要	対象・人数	所要時間	備考
野 外 活 動	キャンプ	テント, 寝袋, 炊飯用具, 屋根付炊飯棟を利用したのキャンプ体験	小学生以上 150人程度	1時間30分	
	野外炊飯	仲間と協力し, 薪を使用するの炊飯活動	小学生以上 180人程度	3時間	薪代 1缶300円
	キャンプファイヤー	火を囲みながらのレクリエーション活動	小学生以上 150人程度	1時間30分	薪代 1,500円
	キャンドルファイヤー	ろうソクの炎に癒やされながら参加者同士の会話を楽しむ活動	小学生以上 最大150人まで	1時間程度	
	焼き芋作り	キャンプ場での焼き芋作り体験	幼児～	1時間30分	
ス ポ ー ツ ・ レ ク リ エ ー シ ョ ン 活 動	ニュースポーツ	フライングディスクゴルフ, シャフルボード, グラウンドゴルフ, パークゴルフ等	小学生以上	1～2時間	
	クロスカン トリー	ふれあいセンター内の起伏に富んだ全芝生の1周約800mコースを走行	小学生以上	1～2時間	
	球 技	バレーボール, ミニバレー, バドントン, 卓球, ソフトボール等	小学生以上	2時間	
	羽根っこゲーム	得点が記されているシートに羽をくように投げるゲーム (幼児から高齢者まで楽しめる)	幼児以上	1時間	
	チームワークゲーム	いくつかの種類を組み合わせたゲームを仲間と課題解決していく活動	小学生以上	1時間	
創 作 ・ 文 化 活 動	焼き板	杉板をバーナーで焼いて磨き, 木実や枝での飾り付けによりフォトフレーム作成	小学生以上 50人程度	2時間	100円
	塗り箸	5色の漆が重ねてある箸をサンドペーパーで研ぎ, オリジナルの箸を作成	幼児以上 100人程度	1～2時間	300円
	ガラス工芸	ガラスコップの表面にルーター使用による絵や模様の彫刻	小学生以上 40人程度	2時間	200円
	コルク工芸コースター	原画をコルクに転写し, 彫り上げながら切り絵風の模様を作成	小学生以上 50人程度	2時間	150円
	レザークラフトキーホルダー	牛革に刻印やペンで絵を描き, 染とコーティングによるストラップ着のキーホルダー作成	小学生以上 120人程度	2時間	250円
	プラホビー	プラスチック板に絵や文字を描き, 一層で加熱後, ストラップを付てのキーホルダー作成	幼児以上 60人程度	1～2時間	2枚組 100円
	水ロケット	ペットボトルと厚紙でロケットを作成 (発射台による発射ができる)	小学生以上 50人程度	2時間30分	厚紙50円 テープ50円
	桜チップキーホルダー	桜の枝を焼いてきれいに研磨するなどしてのキーホルダー作り	小学4年生以上 40人程度	1時間30分	100円
	切り絵	下絵と台紙を重ねてカットし, 裏から色画用紙を貼り付けての切り絵作成	小学5年生以上 100人	2～3時間	120円
	霧ふれオリジナル缶バッジ作り	好きな写真やイラストを使い, 世界に1つしかない缶バッジを作成	幼児以上 50人程度	1時間	100円

○ 必要なものは、「活動プログラム集」を参考にしてください。

	活動名	概 要	対象・人数	所要時間	備考
創作・文化活動	洋風	竹ひごやビニール袋を使った、洋風風作成	小学生以上 50人程度	2時間30分	200円
	アイロンビーズ	アイロンでビーズに熱を加えアクセサリーやキーホルダーを作成	幼児以上 40人	1時間30分	小 50円 中100円 大300円
	バルーンモデリング	ペンシルバルーンを使用して膨らまし動物等を作成	小学生以上 50人程度	1～2時間	1本20円
	もりのおはなしキーホルダー	木の枝に絵や文字を描いてキーホルダーを作成（作品を主人公としたお話を考えて語り合う）	幼児～ 小学校4年生 40人程度	1時間	100円
	ともしびのつどい	ともしびを囲み、自己を見つめ友情を深める交流活動	小学生以上 200人程度	1時間30分	ろうそく代 1人5円
	DVD視聴	雨天時など、星や宇宙に関するDVD等での学習活動	小学生以上		
	絵画	所内及び周辺の豊かな自然の描写	小学生以上	2時間30分	
	音楽活動	落ち着いた環境の中で演奏や合唱（グランドピアノ1台、アップライトピアノ1台、電子ピアノ2台）	小学生以上	2時間30分	
	縁陰読書	所内及び周辺の木陰での読書活動	小学生以上	2時間	

【近隣の施設を使ってできる活動】

	活動名	概 要	対象・人数	所要時間	備考
文化活動	ミニコンサート鑑賞	施設の見学、ミニコンサート鑑賞 ※ 霧島国際音楽ホール（徒歩10分）	幼児以上	1時間30分	☎ 78-8000
	野外彫刻鑑賞	彫刻鑑賞や施設内の自然のスケッチ等 ※ 霧島アートの森（車40分） 学校行事の場合入館料免除	幼児以上		☎ 74-5945
スポーツ・レクリエーション活動	乗馬体験	引き馬での乗馬体験。見学も可能 ※ 霧島高原乗馬クラブ（徒歩5分）	幼児以上 （雨天時可）		☎ 78-3455
	クロスカン トリー	柳ヶ平の1周約2500mの林道周回コース 徒歩20分の森林セラピーを楽しむ	小学生以上	1～2時間	
	水泳	25m夏季限定屋根付きプール ※ 霧島市牧園B&G海洋センター	幼児以上		☎ 78-3770
	テニス	霧島高原国民休養地（徒歩5分）3面	小学生以上		☎ 78-2004
	各種競技	バレーコート4面、バスケコート3面、 陸上競技トラック400m等 ※ 牧園アリーナ（車10分）	小学生以上		☎ 76-2500
	スケート	※ えびの高原人工スケートリンク 11月下旬から2月末（車40分）	小学生以上		☎0984- 33-5946
その他	ボランティア活動	ふれあいセンター内外の清掃 窓拭きや除草作業等	小学生以上	2時間	
	発電所見学	地熱発電の仕組み等の詳細な学習 ※ 大霧地熱発電所（車35分） コロナ感染症の終息まで見学中止	小学生以上 最大70人程度	2時間	土日祝休み ☎要予約 74-1186
	歴史資料	展示館見学等※上野原縄文の森（車45分）	小学生以上	2時間	☎48-5701

※ 印の施設は、入館料や施設使用料等が必要です。必ず事前にお問い合わせください。

IV 生活について

1 本館

(1) 基本的な生活時間

時間	内容
6 : 3 0	起床・洗面
7 : 0 0	朝のつどい 清掃
8 : 0 0	朝食 コロナ感染防止の為 1 回の人数を減らし て対応しています。
9 : 0 0	活動準備
9 : 3 0	活動Ⅰ
1 2 : 0 0	昼食
1 3 : 0 0	活動準備
1 3 : 3 0	活動Ⅱ
1 6 : 0 0	入浴・自由交歓 代表者打合せ 1 回の入浴の人数を 制限しています。
1 8 : 0 0	夕食 コロナ感染防止の為 1 回の人数を減らし て対応しています。
1 9 : 0 0	活動Ⅲ
2 0 : 3 0	自由交歓
2 2 : 0 0	就寝準備
2 2 : 3 0	就寝

○ 起床の放送が流れるまでは、部屋で静かに過ごしましょう。

○ 原則として全員参加してください。
○ 5 分前には、プレイホールに集合・整列をお願いします。
・朝のあいさつ ・ラジオ体操
・健康観察 ・団体紹介
・諸連絡
○ 使用された宿泊室や学習室等の清掃を行ってください。

○ 食事はバイキング方式です。
(朝・夕はバイキング方式、昼は定食です。)
○ 団体ごとに、決められた時間に入室してください。
○ 奥からつめてお座りください。
○ 使用した食器類は、各自で返却口まで持って行ってください。
○ 弁当を注文している団体の方は、個数を確認して受け取ってください。
○ 水筒等へのお茶の補給を希望される場合は、事前に食事申込書にて申し込んでください。
※ アレルギー対応について確認してください。

○ 朝食に準じてください。

○ 各団体の代表者の方は、事務室前に集合してください。
○ 入浴・食事時間の調整、当日夜から翌日の午前中のプログラムの確認を行います。

〔夕食〕

○ 朝食に準じてください。

〔入浴〕

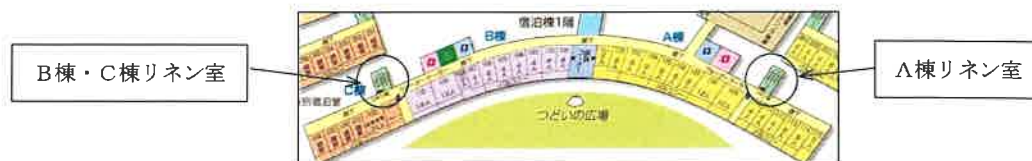
○ 団体ごとに、決められた時間内に入浴してください。

○ 全ての宿泊者がゆっくり眠れるよう、時間を守ってください。

(2) 寝具の取扱い

ア シーツ・枕カバーの受取

シーツ（一人2枚）・枕カバー（一人1枚）は、リネン室のカウンターに団体ごとにまとめて置いてあります。部屋ごとに受け取ってください。



イ ベッドメイキング

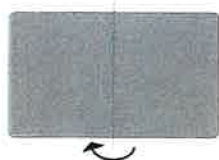


- ① ベッドマットの上にパッドを広げます。
- ② その上に1枚のシーツを広げ、両端をマットの下に折り込みます。
- ③ もう1枚のシーツを広げ、その上に毛布を重ねます。（夏季1枚、冬季3枚）
- ④ 頭の部分のシーツを折り返して、えりカバーにします。枕には枕カバーをします。

ウ 寝具の片付け方

(ア) たたみ方

1 回折る



- ① 毛布はすべて長い辺を半分に折ります。

2 回折る



- ② それぞれの折る回数は次のとおりです。
○毛布……………3回 ○ふとん……………2回
○パッド……………1回

3 回折る



(イ) 置き方

- ① 下からベッドパッド、(布団), 毛布、枕の順に折り目をそろえベッドの窓側に置く。
- ② 宿泊室入り口から見て、山折りにして（毛布の端が見えないように）窓側にそろえて置く。



※ 次の団体が気持ちよく利用できるように御協力をお願いします。

エ シーツ・枕カバーの返却

使用したシーツ・枕カバーは、退所日の清掃時間に、リネン室のカウンターに置いてある袋に分けて入れてください。（シーツはたたまないで、小さくまとめて入れてください。）

オ その他

寝具が汚れた場合は、事務室まで必ず連絡してください。

(3) 生活班の編成

事前に、部屋ごとの生活班を次のように編成してください。(8人部屋の例)

(係)	(仕事の内容)
班 長	引率者との連絡確認、班全体の取りまとめ、人員の確認
副 班 長	班長のサポート、戸じまり、消灯の確認
寝 具 係	シーツ、枕カバーの受け取りと返納、寝具の整理、点検
学 習 係	活動場所・集合時間等の確認と連絡、用具の借用と返納
レクリエーション係	ともしびのつどい、ゲーム等の準備と後片付け及び点検
美 化 係	宿泊室内の荷物やはき物の整理・整とん
保 健 係	病気や事故の連絡とその世話、入浴後の整理・整とん
食 事 係	食事の後片付けの点検

※ 4人部屋及び15人部屋(和室)についても、上の係を参考に編成してください。

(4) その他

ア 貴重品について

お金などの貴重品管理を厳重にお願いします。申し出があれば事務室の金庫で預かることもできます。

イ 飲料水について

(ア) 館内に設置してあるウォータークーラーや自動販売機を利用してください。

(イ) 節水に協力してください。

ウ 飲食について

(ア) 宿泊室内での飲食はできません。

(イ) 食中毒防止のため、飲食物の持ち込みや入所後の外食・差し入れはできません。

エ ゴミについて

(ア) ゴミの処理についてはセンター職員に御相談下さい。

(イ) レストラン提供の弁当容器等については、指定のゴミ置き場に置いてください。

オ 洗濯について

(ア) 温泉棟 1 階の洗濯室に洗濯機と乾燥機があります。無料で使用できますが、洗剤は団
体で準備してください。

(イ) 22時まで使用できます。22時以降の使用はできません。

カ 空調について

(ア) 宿泊室の冷暖房器具は、宿泊室に貼ってある「冷暖房利用について」を熟読の上、注
意事項を守って使ってください。なお、冷暖房期間については以下のとおりです。

※ 冷房期間： 7月15日～ 9月15日（予定）

※ 暖房期間： 11月 1日～ 3月31日（予定）

(イ) 研修室の冷暖房を使用する際は、事務室まで連絡してください。

キ 器物等の破損について

施設・設備・器物等を破損した場合や修理が必要な箇所に気付かれた場合は、事務室ま
で連絡してください。



2 キャンプ場

(1) 基本的な生活時間

時間	内容	
13:00	活動準備	○ 雨天が予想される場合は、打合せを行います。
13:30	活動Ⅱ (テント設営・野外炊飯)	
16:00	代表者打合せ	○ 各団体の代表の方は、キャンプ場管理棟前に集合してください。当日の夜から翌日の午前中の活動について確認を行います。
19:00	活動Ⅲ	
20:30	自由交歓	
22:00	就寝準備	○ 全ての宿泊者がゆっくり眠れるよう、時間を守ってください。
22:30	就寝	
6:30	起床・洗面	○ 団体ごとに起床・洗面を行ってください。
7:20	朝食・朝食片付け	○ 全体でのつどいは行いません。団体ごとに健康観察や連絡、確認を行ってください。 ○ 朝食は、洋食か和食のどちらかです。 ※ 事前に申込みが必要です。洋食は簡易洋食、和食は炊飯活動です。
8:00	清掃	○ 指示された場所と使用した炊飯棟を清掃してください。 ・ 灰は所定の場所に捨ててください。 ・ 残った薪は、薪小屋に返してください。 (使用した燃え残りは返さない。) ・ ゴミは分別し、袋に入れて、キャンプ場管理棟に持ってきてください。
9:00	活動Ⅰ・テント撤収 創作活動等	○ テント撤収を最後まで済ませ、時間が許す範囲で創作活動等が行えます。
12:00	昼食	○ 野外炊飯を行う場合は、テント撤収後に野外炊飯の活動を始めます。本館のレストランで御食事の場合は指定された時間までにレストラン入口にお集まり下さい。

(2) 携行品

- ・ 綿の軍手 (滑り止めのついていないもの) ・ 虫除けスプレー ・ 懐中電灯
- ・ トーチ6本 (キャンプファイヤーを実施する団体) ・ 新聞紙 ・ 着火ライター (マッチ)
- ・ 着替え ・ 洗面用具 ・ 雨具 ・ 常備薬 ・ 救急用具 ・ うちわ ・ ごみ袋

(3) 貸出用具

- ・ 寝袋 ・ シーツ ・ テント一式 ・ 寝袋用マット ・ 炊飯用具 ・ 食器洗い用スポンジ
- ・ 洗剤 ・ 台ふき ・ ごみ袋 ・ ポータブルアンプ (CD可) ・ 延長コード等

(4) 用具の貸出と返却

- ア オリエンテーションの後に行います。数を確認して借用してください。
- イ 食器類は、きれいに洗って数を確認し、食器庫に返却してください。特に、飯ごうはご飯粒がついていないか、カレー鍋はぬめりや煤が残っていないかを確認してください。
- ウ 寝袋は、中に忘れ物がないかを確認した後、小さく丸めて所定の袋に入れ、寝具倉庫に返却してください。
- エ 使用したシーツは、小さく丸めて青色の袋に入れ、管理棟前に持ってきてください。
- オ テントの返却はテント倉庫に種類ごとに返却してください。

(5) 生活班の編成

1～2のテントで生活班を編成します。

(係)	(仕事の内容)
班 長	引率者との連絡確認、班全体の取りまとめ、人員の確認
副 班 長	班長のサポート、戸じまり、消灯の確認
寝 具 係	シーツの受け取りと返納、寝具の整理、点検
学 習 係	活動場所・集合時間等の確認と連絡、用具の借用と返納
レクリエーション係	キャンプファイヤー、ゲーム等の準備と後片付け及び点検
美 化 係	テント内の荷物やはき物の整理・整とん
保 健 係	病気や事故の連絡とその世話
食 事 係	食事の後片付けの点検

※ 炊飯の班編成は、8人程度にしましょう。(場所、用具等の関係もあります。)

※ 炊飯で出た生ゴミはコンポストに入れましょう。

※ テント設営や撤収、寝具類(寝袋・シーツ・寝袋用マット)の受領・返却は全員で協力して行いましょう。

※ キャンプ場の敷地内は全面禁煙です。御協力をお願いします。

(6) その他

ア テント内及びテント近くでは、火気使用厳禁です。(蚊取り線香、ろうそく、炊飯、着火ライター等)

イ テント内の照明には、懐中電灯か電池式のランタンを使用してください。

V 資料

1 必要書類の記入例

令和5年4月1日版

利 用 許 可 申 請 書

令和 年 月 日

鹿児島県立霧島自然ふれあいセンター所長 殿

申請者 住 所 霧島市牧園町高千穂3617-1

氏 名 ふれあい小学校 校長 大浪 太郎

法人その他の団体にあつては、主たる事務所の所在地、
名称及び代表者の氏名

鹿児島県立霧島自然ふれあいセンターの施設の利用許可を受けたいので、次のとおり申請します。

利用目的	集団生活の中で自然とのふれあいを深め、美しいものや自然に感動する心を育むとともに、教師と児童及び児童相互の信頼関係を深める。													
利用責任者の住所及び氏名	〒 899 - 6603				電 話 (0995)				78 - 2815					
利用人員	(64)人													
利用施設及び利用期間	研修利用	1 研修施設	(64)人											
		2 一般宿泊室	(63)人											
		3 特別宿泊室	(1)人											
		4 キャンプ場	(64)人											
	研修外利用	1 プレイホール	月	日	時	分から	月	日	時	分まで				
		2 多目的ホール	月	日	時	分から	月	日	時	分まで				
		3 ガイダンス室	月	日	時	分から	月	日	時	分まで				
宿泊人員	男	女	計	入所日時		月	日	時	分					
				退所日時		月	日	時	分					
※利用料金	金 円													
※備考	※ 有料団体及び免除団体の使用料(見込額)の積算は、次の表を参考にしてください。													
	研 修 団 体						研 修 外 使 用 団 体							
※備考	研修施設使用料	1人	200 円×実()人	円	プレイホール	3,720 円×()時間	円							
		一般宿泊室	1泊 1,090 円×延()人	円	多目的ホール	390 円×()時間	円							
		キャンプ場	1泊 340 円×延()人	円	ガイダンス室	390 円×()時間	円							
		特別宿泊室	1泊 3,400 円×延()人	円	ふれあい棟	390 円×()時間	円							
					創作の館	390 円×()時間	円							
					つどいの広場	390 円×()時間	円							
	合 計		円	合 計		円								

注 1 該当する番号を○で囲むこと。

2 ※印の欄は、記入しないこと。

3 研修等の計画書及び参加者名簿を添付すること。

利 用 者 名 簿

利用団体名		ふれあい小学校		使 用 期 間				利用人員			
				● 月	● 日	～	● 月	● 日	男	女	計
				(●)	泊	(●)	日		30	34	64
番号	氏 名	学年又は 年 齢	備 考	※ 減 免 額							
1	深山 花子	48	教頭								
2	霧島 次郎	37	1組担任								
3	丸尾 ひばり	29	2組担任								
4	中岳 登	41	特別支援学級担任								
5	白鳥 澄子	52	養護教諭								
6											
7	児童名簿は別紙のとおり										
8	1組		30人								
9	2組		29人								
10	計		59人								
11											
12											
13	児童生徒の名簿は、学級名簿で よい。その場合、人数の内訳を記 入する。										
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
26											
27											
28											
29											
30											
31											
32											
33											
34											
35											
36											
37											
38											
39											
40											

- (注) 1 学級名簿等これに代わるものを提出されても結構です。ただし、減免団体の場合、18歳以上の方については減免額の記入が必要です。18歳以上の方の分についてはこの用紙をお使いください。
- 2 利用許可申請書と同時に提出してください。
- 3 ※印の欄は記入しないでください。

活動日程計画書【記入例】				団 体 名 (研 修 会 名)			
区 分		活 動 I		霧島市立ふれあい小学校5年 集団宿泊学習			
期 日	内 容	朝 食	活 動 II	自由交歓	夕 食	活 動 III	
9 月 18 日	晴天時活動	9:30~12:00	韓国岳登山	13:30~16:00	16:00~	19:00~20:30	
第 1 日 目	荒天時活動		池めぐり	始まりの式・オリエンテーション (15:00入所)	48 食	夜の活動の指導は各団体 でお願いします。(センター 職員はつきません。)	
9 月 19 日	晴天時活動	48 食	オリエンテーリング (6人×8班)	キャンプファイヤーと、ともしび のつどいは事前にセンター職員 とリハーサルがあります。	48 食	DVD視聴	
第 2 日 目	荒天時活動	食	レザークラフトキーホルダー	キャンプファイヤー 18:30~キャンプファイヤーリ ハーサル	48 食	キャンプファイヤー	借用物(天体望 遠鏡・スコープ・ 双眼鏡・星座早 見表・DVD)を明 記する。
9 月 20 日	晴天時活動	48 食	テント撤収	テント設置、野外炊飯	A 食	出し物発表、インナーテント設置	
第 3 日 目	荒天時活動	洋 食	カラーリング、羽根っこ 6人×8班	テント12張、野外炊飯(6人×8班)			
			同上	出し物練習、野外炊飯			
			同上	ふり返り、終わりの式 (14:30退所)			
				テントの張数、野外炊 飯の人数×班数を必ず 明記 (テントの宿泊数は4名 程度とする。)			
				食数及びメニューを必ず明記(弁当・持参弁当 の別、和食・洋食の別、A・B・Cの別)			
				ニュースポーツは具体的活動 名及び人数×班数を必ず明記			

☆ 記入上の留意点

- 1 野外炊飯で食材依頼の場合は、食数の下に希望メニューを選択してください。朝食(和食、洋食)(Aカレー、B焼きそば、C豚汁、バーベキュー)
- 2 天候が悪く、野外活動が困難な場合の「荒天時」の活動も必ず記入してください。

※ 夜の活動の指導は各団体でお願いします。(センター職員はつきません。)

(野外炊飯記入例)

48
A
食

団 体 名		ふれあい小学校															
申 込 責 任 者		教頭 深山 花子															
連絡先電話番号		0995 — 78 — 2815															
使 用 期 間		令和 ● 年 ● 月 ● 日 ~ 令和 ● 年 ● 月 ● 日 (2) 泊 (3) 日															
食数		期日		● 月 ● 日		● 月 ● 日		● 月 ● 日		月 日		月 日		月 日		特 記 事 項 (確認・連絡事項)	
本館利用	朝食			64 食												食物アレルギーの有無	
	昼食			64 食		64 食										→ 有	
	弁当	64 食														※詳細は別紙連絡票でお知らせください。	
	夕食	64 食														1日目弁当は9:00受け取り希望	
	幼児(夕食)															2日の朝食後、3日の昼食後、水筒補充用の麦茶をお願いします。	
	鍋オードブル																
野外炊飯利用	メニュー					洋食										野外炊飯の班編制は、8人×8班	
	朝食					64 食											
	メニュー																
	昼食																
	メニュー			A													
	夕食			64 食													
野外炊飯のメニュー				朝 食 : 和食, 洋食(パン食) 昼食・夕食 : A カレーライス B 焼そば C 豚汁													
特別食の料金について				※ 鍋, オードブル等の料金は別途ご相談ください。													
食 費 算 出	本館	朝食	380 円 ×	64 食 =	24,320 円	小 計	合 計	備 考									
		昼食	540 円 ×	128 食 =	69,120 円	166,400 円	225,280 円										
		弁当 弁当500円 おにぎり弁360円 おにぎり2つ280円	500 円 ×	64 食 =	32,000 円												
		夕食	640 円 ×	64 食 =	40,960 円												
		幼児(夕食)	520 円 ×	食 =	円												
		鍋オードブル	円 ×	食 =	円												
	野外炊飯	朝食	380 円 ×	64 食 =	24,320 円	小 計			58,880 円								
		昼・夕食	540 円 ×	64 食 =	34,560 円												
		BBQ 牛肉あり1100円 牛肉なし900円	円 ×	食 =	円												
備 考		1 記入の方法は「霧島自然ふれあいセンター利用の手引き」をご覧ください。 (1) 弁当注文の場合は、特記事項の欄にその旨と受取り希望時間を明記してください。 (2) 野外炊飯の場合は、希望するメニューをリストボックスから選んでください。 (3) 野外炊飯の場合は、特記事項の欄に班数と人数構成を明記してください。 (4) 幼児の欄は、4歳以上小学校入学前の幼児の場合に記入してください。(幼児団体に限る。) (5) 水筒補充用の麦茶を、食事後、セルフサービスで入れることができます。必要な場合は、特記事項の欄に、希望時間を記入してください。 2 食数の変更は、研修開始日の2日前の午前中までに次の番号へ連絡してください。 ○ センターレストラン直通0995-78-3176 (FAX兼用) ○ 伊田食品株式会社 本社099-257-3737 (レストラン不在時) 3 食事代は、研修中の最後の食事終了後、レストランへ直接納入してください。															

記入例

お願ひ

・卵のアレルギ―がある場合マヨネーズに対してのアレルギ―、ゴマのアレルギ―がある場合はゴマ油に対してのアレルギ―、大豆のアレルギ―がある場合は醤油に対してのアレルギ―など原材料に関するアレルギ―がある場合は、特記事項の欄に記入してください。

下記のアレルゲン28品目の他にアレルゲンがある場合も、対象となる食材を全て記入してください。

卵、乳、小麦、そば、落花生、えび、かに

あわび、いか、いくら、さけ、さば、カシューナッツ、牛肉、豚肉、鶏肉、ごま、大豆

ゼラチン、くるみ、まつたけ、やまいも、オレンジ、キウイフルーツ、バナナ、もも、りんご、アーモンド

※引率責任者の方がご記入のうえ、食事申込書と一緒に提出ください。

☆食物アレルギーについて連絡する必要がある利用者は、団体代表者にご提出ください。

食物アレルギーに関する連絡票（利用者用）

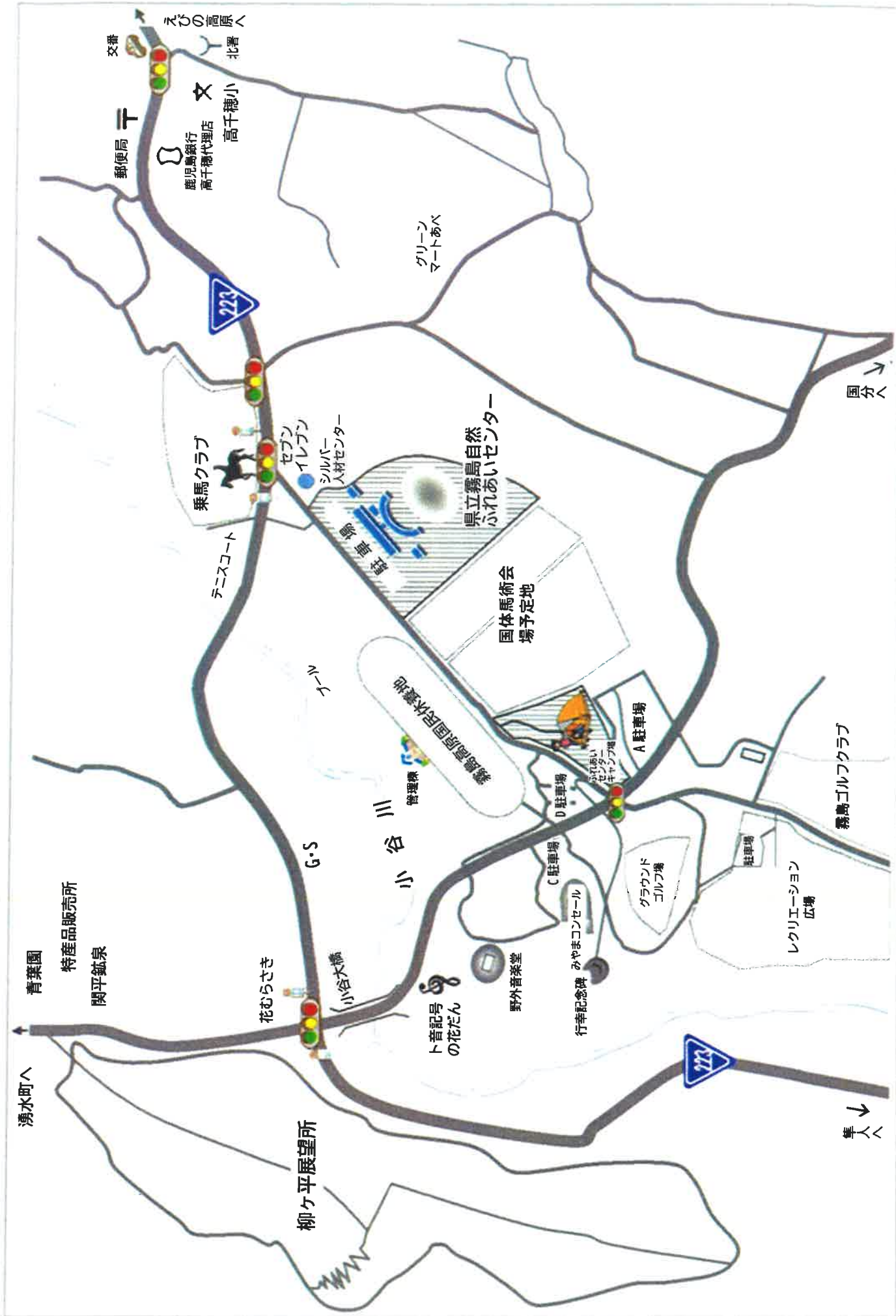
お願い

・卵のアレルギーがある場合マヨネーズに対してのアレルギー、ゴマのアレルギーがある場合はゴマ油に対してのアレルギー、大豆のアレルギーがある場合は醤油に対してのアレルギーなど原材料に関するアレルギーがある場合は、特記事項の欄に記入してください。

団体名	ふれあい小学校		
利用者名	高千穂太郎	連絡先	●● - ●● ●●

アレルギー症状の出る食品名 (甲殻類ではなく具体的にえび・カニなどのように記入してください)	アレルギー症状の程度					医師の診断を受けたことがある ○×で回答を○で囲む	診断書等の有無 該当するものを○で囲む 1 診断書 2 学校生活管理指導書 3 その他 4 なし	エピペンの処方 ○×で回答	アナフィラキシーショック発症の有無	特記事項
	全く食べられない		条件によっては食べられる							
	調理由を分ける必要あり	エキスでも不可	エキスなら可	自己で取り分けられる	加熱して食べられる					
エビ	○	○					湿疹がでる			
卵			○	○	○	○	おう吐する			マヨネーズ×
下記のアレルギー28品目の他にアレルギーがある場合も、対象となる食材を全て記入してください。 卵、乳、小麦、そば、落花生、えび、かに あわび、いか、いくら、さけ、さば、カシューナッツ、牛肉、豚肉、鶏肉、ごま、大豆 ゼラチン、くるみ、まつたけ、やまいも、オレンジ、キウイフルーツ、バナナ、もも、りんご、アーモンド										

※ 未成年者の場合は、必ず保護者が記入してください。

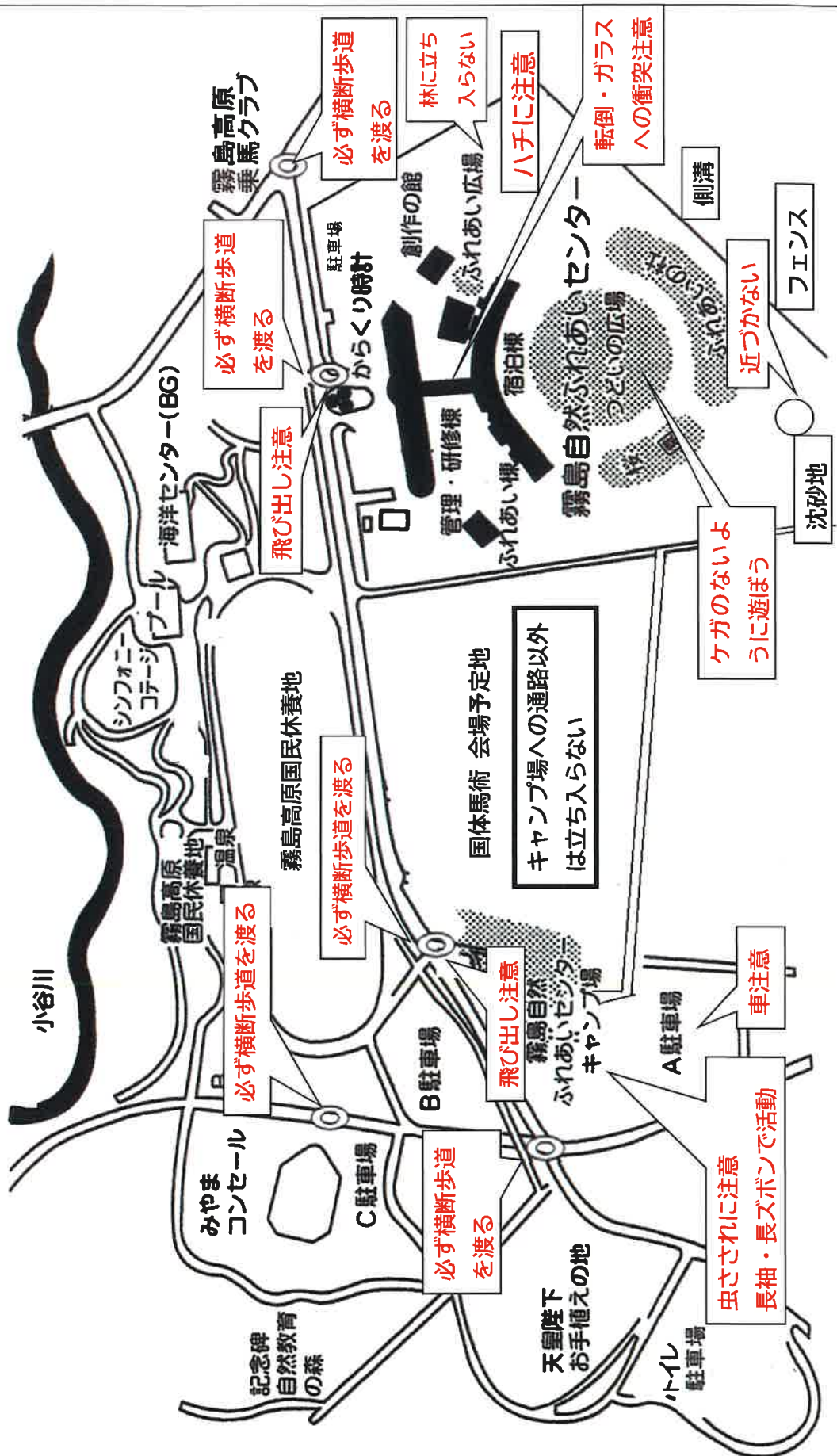


3 医療機関所在地



優先順	医療機関名	電話／所在地	備 考
1	霧島市立医師会医療センター	0995-42-1171 霧島市隼人町松永3320	センターから車で約30分
2	霧島杉安病院	0995-57-1221 霧島市霧島田口2143	センターから車で約25分
3	大庭医院（内科）	0995-76-1984 霧島市牧園町宿窪田941-1	センターから車で約15分

霧島自然ふれあいセンター安全活動マップ。



安全な野外活動のために

～マダニ、ムカデ、スズメバチ、マムシ等への対策とその対処法～

マダニ



〈身を守るための対策〉

- ・ 長袖、長ズボンを着用する。
- ・ 山では草に直接座らない。
- ・ 虫除けスプレーを使用し、帰宅後すぐ着替え、入浴する。

〈もしものときの対処〉

- ・ 吸血が終わるまで1-2週間程度は体から離れないため、無理にマダニを引き抜こうとしない。
- ・ 出来るだけ早く皮膚科を受診する。

ムカデ



〈身を守るための対策〉

- ・ 長袖、長ズボン、軍手を着用する。
- ・ 落ち葉の下や石の下、暗くてじめじめした場所に気をつける。

〈もしものときの対処〉

- ・ 噛まれたら、患部に抗ヒスタミン含有のステロイド軟膏を塗布する。
- ・ 腫れた患部はできるだけ冷やす。
- ・ 腫れがひかなければ、すみやかに病院へ行く。

スズメバチ



〈身を守るための対策〉 羽音が大きい。「カチカチ」と威嚇音を出す。

- ・ 黒っぽい服装を避け白っぽい色の服装にする。
- ・ 長袖、長ズボン、帽子を着用する。
- ・ 匂いの強い香水などはつけない。
- ・ 巣に刺激を与えない。
- ・ 近づいてきたら、目を閉じ、顔を下向き加減にし、姿勢を低くする。騒いだりしない。
- ・ 横に振る動きに反応するので、攻撃してきたら、手で払ったりせず低い姿勢で急いでその場から離れる。
- ・ 大きな声を出さない（大きな音に反応する。）

〈もしものときの対処〉 ※ 刺されたところをもまない。

- ・ 刺されたら、ポイズンリムーバーを使って毒を吸い出す。
（『ポイズンリムーバー』は、当センターでも常備しています。）
- ・ きれいな水で患部を洗う。
- ・ 冷水や氷などで患部を冷やす。

マムシ



ヤマカガシ



〈身を守るための対策〉 胴体太い。茶褐色、背中に丸の斑点あり。

- ・ 長袖、長ズボン、軍手を着用する。
- ・ 湿気のある所や、やぶには入らない。
- ・ 遭遇したら、できるだけ遠くに離れる。攻撃しない。

〈もしものときの対処〉

- ・ 噛まれたら、ポイズンリムーバーを使って毒を吸い出す。
（『ポイズンリムーバー』は、当センターでも常備しています。）
- ・ すみやかに病院へ行く。
- ・ 痛みを和らげるために冷やす。

※ 他の毒蛇として「ヤマカガシ」がいる。細長い胴体に、赤、黒のまだら模様があり、首が黄色をしているのでわかりやすい。

団体代表者へのお願い

1 入所にあたって

(1) 書類等の受け渡し

センターへ提出
研修のしおり(1部)

センターから団体代表者へ	
使用許可書	団体で保管(無料団体のみ・有料団体送付済)
名札カード・ケース	研修中は必ず着用、退所時ケースのみ返却
部屋点検カード	本館泊の翌朝、代表者がまとめて事務室へ
研修団体アンケート	退所時、アンケートを記入し事務室へ
支払いカード	退所日に記入し事務室へ
安全活動マップ	活動場所の危険箇所を確認

(2) 確認事項

人員:	人	宿泊室:	テントサイト:
食事について	メニュー・食数・食事場所	※ 食事申込書参照(アレルギー対応確認)	
活動について	活動内容・活動場所	※ 活動日程計画書参照	
入所前の活動	入所前の登山や施設見学等での事故等発生の有無		
特別な支援等	車椅子の使用や小浴場の利用等、特別な支援・配慮の有無		
荷物の保管場所	本館利用時の荷物の保管場所の確認 ※ キャンプ場で宿泊の時は、保管場所を相談する。		

2 始まりの式・終わりの式について ※ 進行は貴団体でお願いします。

1 一同礼	一同・・・礼
2 はじめのことば	これから〇〇〇の始まりの式(終わりの式)を始めます。
3 利用者代表あいさつ	利用者代表あいさつ
4 歓迎(お別れ)のあいさつ	歓迎の(お別れの)あいさつ～霧島自然ふれあいセンターから
5 おわりのことば	これで〇〇〇の始まりの式(終わりの式)を終わります。
6 一同礼	一同・・・礼

終了後オリエンテーション

3 団体代表打合せについて

当日の夜から翌朝までの活動内容や活動場所、入浴時間、清掃等についての打合せを行います。また、本館泊の場合、朝のつどいの進行担当団体を決めます。

- 本館泊・・・午後4時～事務室前 ○ キャンプ場泊・・・午後4時～管理棟前
※ 荒天時は、午後1時に臨時的打合せをする場合があります。(事務室前)

4 朝のつどい (本館泊のみ、午前7時～プレイホール。5分前には集合完了してください。)

1 はじめのことば	2 国旗に注目	3 朝のあいさつ	4 ラジオ体操
5 健康観察	6 団体紹介	7 諸連絡	8 おわりのことば

※ キャンプ場泊の場合、各団体ごとに健康観察・連絡を行ってください。

5 退所にあたって

<退所点検>

各団体の引率責任者で、最後の見届けをし、退所点検が終わったことを事務室へご連絡ください。

物品や設備等を紛失または破損した場合、及びシーツ以外の寝具を汚した場合は、事務室にご連絡ください。

<支払い>

食事代	レストランへ
寝具クリーニング代	事務室へ
クラフト・ろうそく代	
キャンプ活動費	

◆ 原則として現金です。領収証を複数に分ける場合は、事前にご連絡ください。

<提出・返却>

- ① 部屋点検カード
② ネームケース
③ 利用団体アンケート
④ 支払いカード

※ すべて事務室へ

6 その他

(1) 参加者の健康管理と安全管理を徹底してください。

※ 保健室を利用する場合、容態急変に備え、必ず引率者1名が付き添ってください。

※ 嘔吐した場合は、職員が処理しますので、手を触れないでください。

※ 沈砂池やその周辺のフェンスには、近づかないでください。(安全活動マップ参照)

また、新燃岳の火山活動に対する注意もお願いします。(窓に近づかないなど)

(2) お金などの貴重品管理を厳重にお願いします。事務室の金庫でお預かりできます。

(3) 食事以外の飲食については事務室に申し出てください。場所と時間を限定して許可される場合があります。ただし、混食はできません、なお、持ち込んだゴミ、容器等とはご相談ください。

(4) 喫煙につきましては、本館はカーポート横でお願いします。キャンプ場は敷地内は全面禁煙です。

(5) 節電、節水に御協力ください。研修室・宿泊室を出るときは、冷暖房や電灯を消してください。

(6) 面会や交代がある場合は、必ず事務室に連絡してください。(夜は午後10時正門施錠です。)

◎ 緊急時対応の病院(事務室職員が各医療機関へ照会します。速やかにご連絡ください。)

○ 霧島市医師会医療センター	0995-42-1171(車で30分)	※ 夜間対応可
○ 杉安病院	0995-57-1221(車で25分)	※ 夜間対応可
○ 大庭病院(内科)	0995-76-1984(車で15分)	

センター利用の留意事項

1 基本的な生活時間 ※ は、キャンプ場

6:30	7:00	7:20	8:00	9:00	9:30	12:00	13:00	13:30	16:00	18:00	19:00	20:30	22:00	22:30
起床・洗面	朝のつどい	清掃	朝食	活動準備	活動Ⅰ テント撤収	昼食	活動準備	活動Ⅱ テント設営&野外炊飯 (キャンプファイヤー事前指導)	自由交歓 団体打合せ	夕食	活動Ⅲ	自由交歓	就寝準備	就寝

2 引率指導者の全体的留意事項

- (1) 所内での生活指導や利用者の健康管理、安全管理、活動前後の人員確認、事故防止に心がけてください。
- (2) 事故や急病、不審事案等が発生した場合は、センター職員へただちに連絡してください。
- (3) 生活時間を厳守してください。(集合は5分前までに。入浴等終了時刻も守ってください。)
- (4) 使用した施設・用具等の後始末の確認をお願いします。
- (5) 室内及びテント内の寝具や、荷物の整理整頓をお願いします。
- (6) 火災や地震に備えて、避難経路や消火器の位置を確認してください。
- (7) 宿泊室での飲食はできません。

3 レストランの利用について

- (1) レストランはセルフサービスです。
- (2) 食物アレルギーの対応が必要な参加者がいる場合、団体の先頭で団体代表者が対象者とセンター職員、レストランチーフと一緒にアレルギー対応(代替食等)について確認をします。
※「食物アレルギーに関する連絡票」持参
- (3) 食事の受け取りや席の着き方の指導は引率者でお願いします。
- (4) 朝食と夕食はバイキングです。各自、体調に応じてお取りください。(取りすぎ、食べすぎにご注意ください。)
※ご飯を少なめにしてほしいときには、遠慮なくレストラン従業員に声をかけてください。
- (5) 退席の際は台ふきでテーブルを拭き、椅子は中に入れてください。
- (6) 食器の返却や残飯類の片付けは、レストラン職員の指示どおりに行ってください。
- (7) 食費は、退所日の朝9時までにレストランに直接お支払いください。(会計担当者へ確実に伝えてください。)また、振込での納金も退所日9時までにレストランで手続きを行ってください。

4 浴室の利用について

- (1) 入浴時間は利用団体数や活動プログラムにより時間を調整します。(キャンプ場泊団体は入浴なし)
※ 原則として、引率者も割り振られた時間内に入浴をすませてください。
- (2) 入浴マナーを守るよう指導してください。
ア かけ湯をして、身体を洗ってから浴槽に入ってください。
イ タオル等は、浴槽につけないでください。
ウ 身体をよく拭いてから浴室を出てください。
※ 髪の毛は、しっかりとタオルドライしてから浴室のドライヤーをお使いください。
- (3) シャワーは、温度調節をしてから使用してください。浴槽に入る前は、温度調節をしてから入浴してください。
- (4) 使用後は、温泉、湯、水の蛇口をしめ、浴室、脱衣所に忘れ物がないかを確認してから消灯してください。(エアコンのOFFを忘れずに確認して下さい。)
- (5) 最後の利用団体は、お湯を抜いてください。
- (6) 浴室は安全確保のため、各団体の利用終了時刻には入口を施錠します。

5 寝具類の使用について

- (1) シーツ(一人2枚)、枕カバー(一人1枚)は、リネン室のカウンターに団体ごとにまとめて置いてあります。部屋ごとに受け取ってください。
- (2) ベッドメイキングの方法や収納の仕方は、部屋に備え付けてある「宿泊室のしおり」を参考にしてください。
- (3) 使用済みのシーツと枕カバーは、指定の袋にそれぞれ分けて入れ、全て入れ終わったら、リネン室横の廊下に並べてください。

6 キャンプ場の利用について

- (1) 車は、キャンプ場内の指定場所に駐車してください。(団体1台のみ)
- (2) 用具等の貸出は、キャンプ場オリエンテーションの後に行います。清掃・返却については、職員の指示どおりに行ってください。
- (3) テント内及びテント付近は、火気使用厳禁です。テント内の照明には、懐中電灯か電池式のランタンのみお使いください。(蚊取り線香、ろうそく、炊飯、ライター、たばこ等不可)

キャンプ場利用の留意事項について

1 基本的な生活時間

6:30	7:00	8:00	9:00	9:30	12:00	13:00	13:30	15:30	16:00	18:00	19:00	20:30	22:00	22:30
起床・洗面	朝食	テント撤収	清掃	活動準備	活動 I	昼食	活動準備	活動 II テント設営 野外炊飯等	活動 III	自由交歓	就寝準備	就寝		

※ キャンプファイヤーのリハーサルは18:00につどいの広場・営火場で行います。
担当（親火、子火①～④、司会進行、営火長）はトーチを持参して集合してください。

2 引率指導者の全体的留意事項

- (1) 所内での生活指導や利用者の健康管理，安全管理，事故防止に心がけてください。
- (2) 事故や急病等が発生した場合は，センター職員にただちに連絡してください。
- (3) 消灯時刻，起床時刻を厳守してください。
- (4) 使用施設等の後始末の確認をお願いします。
- (5) テント内及び周辺の整理整頓をお願いします。
- (6) 敷地内は喫煙は禁止です。（敷地内全面禁煙）飲酒については事前にご相談ください。

3 用具の貸出と返却

- (1) 用具の貸出はオリエンテーションの後に行います。
- (2) 炊飯活動の用具は引率者の立会いのもと、食器倉庫・管理棟前で数を確認して受け取り、返却してください。
 - ・ 洗剤、スポンジたわし、包丁等は管理棟前から、コンテナ・皿（班の人数＋1枚）を食器倉庫から受け取ってください。
 - ・ 食器類は、洗剤で洗って数を確認し、コンテナに入れて食器庫に返納してください。特に飯ごうは、ご飯粒がついていないか、ヌルヌルしていないかを確認してください。
- ※ 鍋・飯ごうは水分を残さないために、蓋を取り、逆さまにしてコンテナに入れてください。
- (3) 食中毒防止のため、アルコール消毒液を、まな板、食器、包丁等の道具に、使用前及び使用後に2～3回吹きかけてください。（食しても人体に影響はありません）
- (4) 寝袋は、中に忘れ物がないかを確認した後、小さく巻き込んでたたみ、所定の袋に入れてウレタンマットとともに毛布倉庫に返却してください。
- (5) 使用したシーツ（一人1枚）は、管理棟前に置いてある青い袋に返却してください。

4 清掃

- (1) 灰や燃えかすは灰捨て場に捨て、水道で十分消火してください。また、流しや土間はきれいに清掃してください。
- (2) 使わずに残った薪は、薪小屋に返してください。（使用した燃え残りは返さない）
- (3) 燃えるゴミやビニールはポリ袋に入れて、生ゴミ（野菜くず・食べ残し）は所定のポリバケツにまとめて、コンポスト（堆肥をつくる容器）に持って行ってください。
- ※ コンポストの中に生ゴミ以外のものを入れないようにして下さい。
- (4) トイレはホースで水を流し、ブラシでこすり、床面に水が残らないように水を切ってください。水道栓は管理棟から借りてください。

5 その他

- (1) テント内及びテント周辺では、火気使用厳禁です。（蚊取り線香、ろうそく、ライター、たばこ等）
- (2) テント内の照明には、懐中電灯か電池式のランタンだけを使用してください。
- (3) テント内外の整理整頓に心がけ、外出の際には虫の侵入や雨天が予想される場合は、入り口のファスナーを必ず閉めてください。
- (4) 就寝の際は、寝袋にムカデ等がないか十分チェックしてください。
- (5) 夜は声が響きます。他の利用者の迷惑にならないように大きな声は控えてください。

◎ 緊急時対応の病院

霧島市医師会医療センター	0995-42-1171（車で30分）夜間対応可
杉安病院	0995-57-1221（車で25分）夜間対応可
大庭病院（内科）	0995-76-1984（車で15分）

キャンプ場日帰り利用 団体代表者へのお願い

1 キャンプ場を利用する団体へのお願い

- (1) 使用した炊飯棟の清掃を行ってください。
- (2) お金などの貴重品管理を厳重にお願いします。
- (3) 引率の交代等がある場合は、必ずキャンプ場にいるセンター職員または本館事務室に連絡してください。
- (4) 救護車（1台のみ）は、キャンプ場内の指定場所に駐車してください。また、道幅が狭く、散歩をされている方もいらっしゃるの、十分にご注意ください。
- (5) カラス等の野生動物から食材が荒らされないように注意してください。

2 引率指導者の全体的留意事項

- (1) 所内での生活指導や利用者の健康管理，安全管理，事故防止に心がけてください。
- (2) 事故や急病等が発生した場合は、センター職員にただちに連絡してください。
- (3) 使用した炊飯棟や営火場等の後始末の確認をお願いします。
- (4) 敷地内は喫煙は禁止です。（敷地内全面禁煙）飲酒については事前にご相談ください。

3 用具の貸出と返却

- (1) 用具の貸出はオリエンテーションの後に行います。
- (2) 炊飯活動の用具は引率者立会いのもと、食器倉庫・管理棟前で数を確認して受け取り、返却してください。
 - ・ 洗剤、スポンジたわし、包丁等は管理棟前から、コンテナ・皿（班の人数＋1枚）を食器倉庫から受け取ってください。
 - ・ 食器類は、洗剤で洗って数を確認し、コンテナに入れて食器庫に返納してください。特に飯ごうは、ご飯粒がついていないか、ヌルヌルしていないかを確認してください。※ 鍋・飯ごうは水分を残さないために、蓋を取り、逆さまにしてコンテナに入れてください。
- (3) 食中毒防止のため、アルコール消毒液を、まな板、食器、包丁等の道具に、使用前及び使用後に2～3回吹きかけてください。（食しても人体に影響はありません）

4 清掃

- (1) 灰や燃えかすは灰捨て場に捨て、水道で十分消火してください。また、流しや土間はきれいに清掃してください。
- (2) 使わずに残った薪は、薪小屋に返してください。（使用した燃え残りは返さない）
- (3) 燃えるゴミやビニールはポリ袋に入れて、生ゴミ（野菜くず・食べ残し）は所定のポリバケツにまとめて、コンポスト（堆肥をつくる容器）に持って行ってください。
- (4) トイレはホースで水を流し、ブラシでこすり、床面に水が残らないように水を切ってください。
水道栓は管理棟から借りてください。

5 その他

キャンプ場から道路に出る際は、見通しが悪いので注意してください。

キャンプ場へのルートマップ

★は、案内看板

